

ディフロア株式会社

東京都台東区下谷3丁目4-4 三輝ビル301 TEL:03-6802-3561 FAX:03-6802-3562

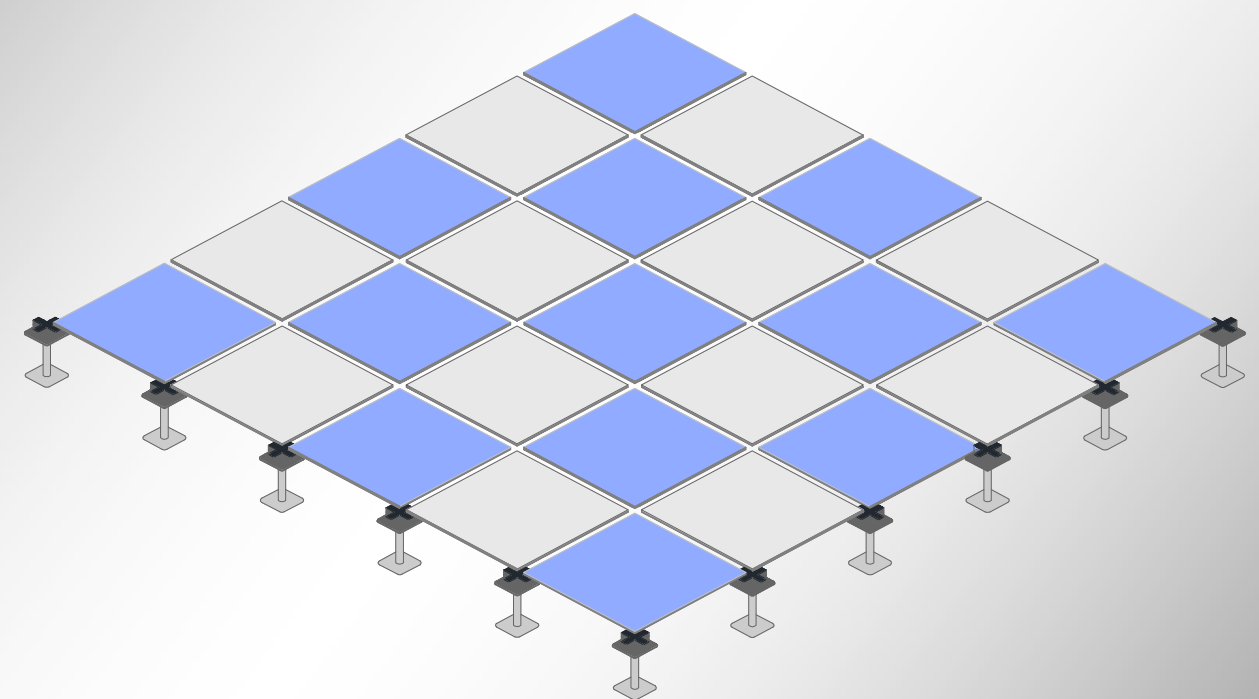
●お問い合わせ・ご相談は———

本カタログ掲載の内容は、製品改良等の理由により、事前の予告なしに変更される場合があります。
予め、ご了承下さい。

D-floor

ディー フロア

オフィス用OAフロア スチール無機質材充填タイプ



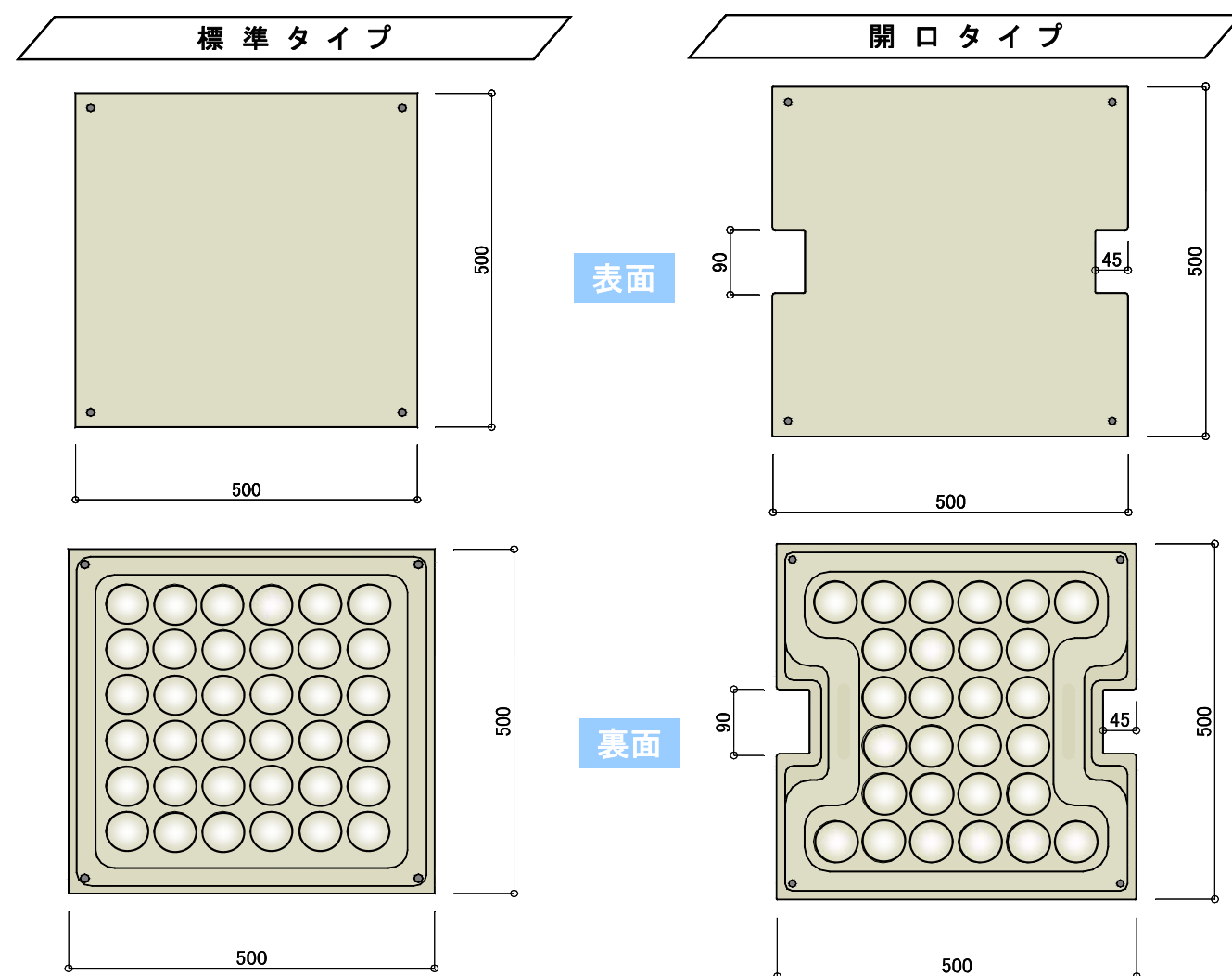
ディフロア株式会社

Dフロア 6000N-S 7000N-S

- 1 スチール製無機質材充填タイプなので安心の耐久性、快適な歩行感を実現。
- 2 レベル調整タイプで高さのバリエーションが豊富。不陸にも対応。
※H60～H300までは標準です。それ以上の高さはご相談ください。
- 3 多彩なレイアウトにも対応。アウトレットも自由に取り付け可能。
- 4 支持脚共通のため6000Nパネル(補強タイプ)と7000Nパネル(補強タイプ)のど
- 5 パネルは四点留めでズレがなくしっかり固定、優れた耐震性。

全製品帯電防止仕様！

パネルの仕様



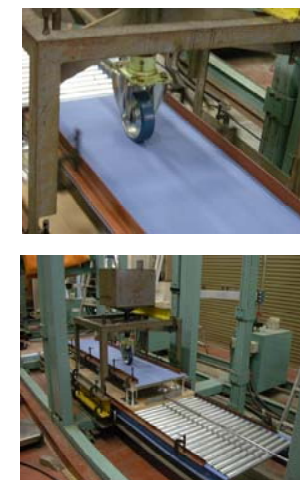
品名	材質	寸法(mm)	質量(kg)	積載荷重	荷重性能(中央)
6000N-S	スチール無機質材充填	500×500×28×1.3	10	6000N	6000N時 たわみ 2.0mm以下

ローリングロード試験

JIS A 1450 - 2003

実用荷重を負荷させたウレタン被覆キャスターを、パネル中央に10000回(5000往復)走行させた後、最大荷重・中央荷重を測定。

パネル	最大荷重		試験後の静荷重試験		目視による損傷
	中央板	端板	中央板	端板	
3000N-S	11000N以上	7500N以上	3000N 2.0mm以下 3.0mm以下		異常なし
5000N-S	16000N以上	13000N以上	5000N 2.0mm以下 3.5mm以下		異常なし
6000N-S			6000N		

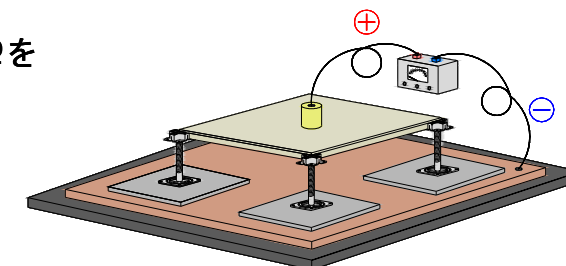


漏えい抵抗試験

JIS A 1450 - 2003

漏えい抵抗値測定後、漏えい抵抗値 $>1 \times 10^6 \Omega$ を基準に評価。

パネル	漏えい抵抗値(Ω)	性能基準
3000N-S	$1.1 \times 10^{12} \Omega$	適合



帯電性試験

JIS A 1450 - 2003

人体耐電圧測定後、人体帯電圧 $\leq 2.0\text{kV}$ 以下を基準に評価。

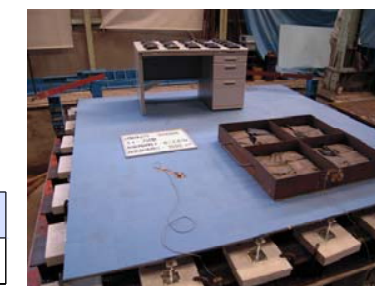
パネル	人体帯電圧	性能基準
3000N-S	2.0kV以下	適合
5000N-S	2.0kV以下	適合

振動試験

社団法人 公共建築協会 評価基準

等分布荷重に加えワークデスクによる荷重をかけ、振動台により1Gの水平振動をかけ目視確認。

パネル	入力加速度	振動数範囲(Hz)	加速時間(秒)	目視による損傷
3000N-S	1000 (1.0G)	6.0~2.6	75	異常なし



※ JIS A 1450 - 2009は新JIS試験方法
JIS A 1450 - 2003は旧JIS試験方法

■ すべてにおいて安全、高性能なOAフロア。

性能試験

JIS A 1450

実証された性能。最先端の安全性能でオフィスを守ります。

耐震性能

従来、OAフロアの性能はJIS A 1450(フリーアクセスフロア構成素材試験方法)が標準化されていましたが、近年、振動に対する性能も求められるJIS A 1450(フリーアクセスフロア試験方法)に改正されました。

試験の適正化

静荷重試験・衝撃試験・ローリングロード試験は試験の簡便化のため載荷位置を中心・辺中央としていましたが、施工において実際に負担がかかるわけではなく、実態に即した試験方法とするため負荷をかける場所を最弱部と定められました。

試験項目	試験機関	評価基準
静荷重試験	財団法人 建材試験センター	JIS A 1450 - 2009
衝撃試験		
燃焼試験		
ローリングロード試験		JIS A 1450 - 2003
漏えい抵抗試験		
帯電性試験		
振動試験	社団法人 公共建築協会	

静荷重試験

JIS A 1450 - 2009

パネルを支持脚で4点支持し、φ50の荷重子を荷重試験機により荷重をかけ、たわみ量を測定。

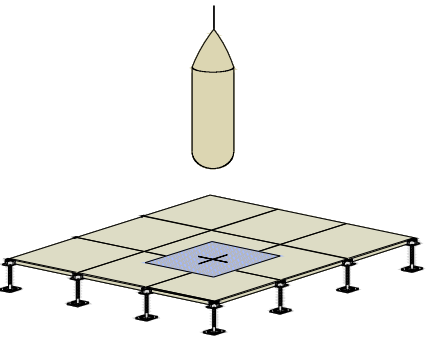
パネル	荷重	最弱部	変形量(mm)
3000N-S	3000N	辺中央	3.5以下
3000N-SW	3000N	開口フタ上	4.5以下
5000N-S	5000N	辺中央	3.6以下
6000N-S	6000N	辺中央	



衝撃試験

JIS A 1450 - 2009

パネルを支持脚で4点支持し、30kgの砂袋(底面φ220 JIS A 1414)を所定の高さからパネル最弱部に自由落下させ、たわみ量を測定。



パネル	荷重	落下の高さ(mm)	最弱部	変形量(mm)
3000N-S	30kg	250	支持脚上部	2.5以下

燃焼試験

JIS A 1450 - 2009

試験体中央部で最も熱的影響を受けやすい箇所に加熱を行う。実際に施工した場合同様、表面仕上げ材を敷設し、残炎時間を測定。

パネル	残炎時間(秒)	目視による損傷
3000N-S	0.00	異常なし



■ 見えないところもしっかりサポート、だから安心。

支持脚

パネルの中央部、壁際の端部によって2タイプの支持脚があります。各種低床から高床まで標準60mm～300mmの支持脚があります。

標準支持脚



ボーダー支持脚



高さ(mm)	H=60	H=100	H=150	H=200	H=250	H=300
調節範囲(mm)	+10 -5	±10	±10	±10	±10	±10

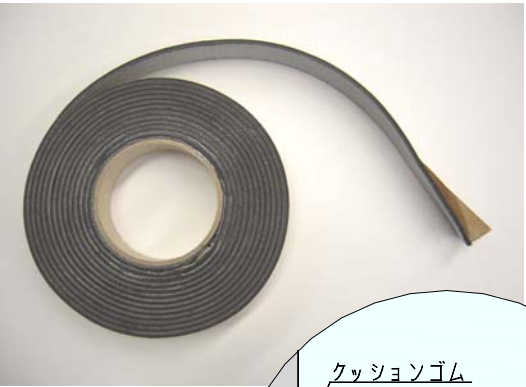
※高さ及び調整範囲は表面仕上げ材を含んだ高さです。

使用部材

さまざまなニーズに応え、オフィス環境をサポートする部材。

クッションゴム

パネルと支持脚を固定・保護。



- 製品名:クッションゴム
- 寸法:3×25mm

支持脚用接着剤

支持脚を固定する支持



- 製品名: FU-7ボンド
- 容量: 15kg, 10kg
- 包装形状: 缶
- 梱包単位: 15kg/1缶, 10kg/2缶
- 特徴: 化学反応形無溶剤タイプ

JIS A 5549

F★★★★

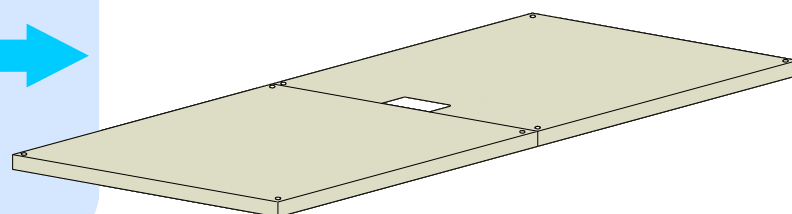
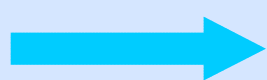
主成分	ウレタン樹脂	
適用箇所	屋内の床面	コンクリート面、防塵塗材仕上げ面 モルタル面、防水塗材仕上げ面
外観	淡黄色 ペースト状	
手直し可能時間	3時間以内/23℃(屋内)	

■ 形状やサイズ、オフィスのさまざまなニーズに対応。

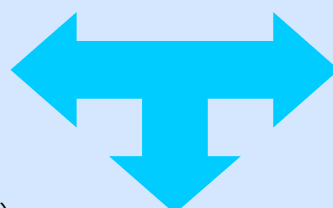
■ アウトレット

あらゆる配線機器にも柔軟に対応。思いのままのオフィス環境をご提案いたします。

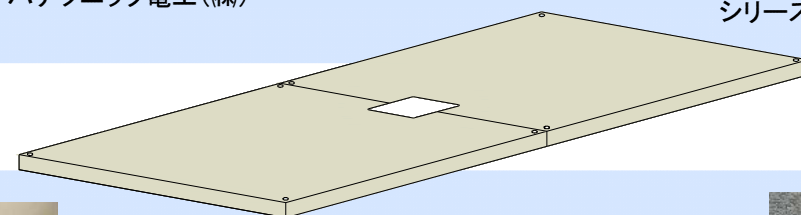
インナーコンセント
(ミニシングル) パナソニック電気(株)



インナーコンセント
(ミニダブル) パナソニック電気(株)



イーナEEA
シリーズ (株)寺田製作所

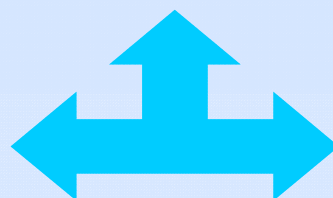


ワイヤリング機器取り付けプレート
又は

HFC-5ATF (株)平山製作所



HB-12-90 (株)平山製作所



SBBシリーズ (株)寺田製作所



HFC-10AC (株)平山製作所

※コンセント類の詳しい内容や発注につきましては、各メーカーにお問い合わせください。

パナソニック電気株式会社 配管機材事業部
株式会社 平山製作所

■ 軽量パネルで迅速かつ簡単な施工。

■ 施工手順

施工開始から完了までレイアウトの追加変更などのご要望にも、しっかりお答えします。
施工手順の簡単な流れをにご説明いたします。

床面の確認

工事着工前に、床面に凹凸がないように補修を行う。
また、コンセント類は事前に外しておく。

1

清掃

床面の凹凸を確認後清掃を行う。



2

墨出し

割付図に基き、割付墨をだす。



3

レベル設定

腰墨又は沓摺りから高さ基準を設定する。レーザーレベル・角パイプを用いて部屋全体の高さを設定し、高さが決まった支持脚は速やかに締結する。



4

支持脚固定

基準墨の交点に支持脚が来るよう位置を合わせ、フロアボンドにて支持脚をスラブに接着する。

5

パネル敷き込み

基準墨に沿ってパネルを敷き込みます。床スラブの状態によりガタツキが生じる場合があるので調節する。



6

ボーダー処理

パーティクルボードを必要寸法に切断し、納めます。ボーダー施工後はタッピングビスにて支持脚とボーダーを固定します。



7

オプション施工

必要に応じて、框・スロープを取り付ける。



8

カーペット敷き込み

9

検査・完了

10